



平成29年4月13日

報道機関各位

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
理事長 丹保憲仁

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員の募集について

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）は、平成22年4月に22の道立試験研究機関を統合し設立した研究機関です。

この度、道総研では平成30年度に採用する職員の試験を実施することになりましたので、積極的なPRについてご協力をお願いします。

詳しくは、別添募集要項をご覧ください。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

本部経営企画部経営企画グループ

担当：主査（人事） 木藤

電話：011-747-0055（直通）

E-mail：kito-h-fumio@hro.or.jp

※平日 8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用試験募集要項 (平成30年度採用)

平成29年4月1日 札幌市北区北19条西11丁目
北海道立総合研究機構 電話 011-747-0055

- 受付期限 平成29年6月12日(月) [消印有効]
- 第1次試験日 平成29年7月 2日(日)
- 試験地 札幌市

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる22の試験研究機関を統合して設立した研究機関であり、この採用試験は、各研究分野において研究業務を行う職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。
(北海道職員ではありません。)

1 試験区分、採用予定数、主な職務内容及び勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な職務内容	勤務予定箇所
作物	6名	作物育種及び栽培技術に関する調査研究	農業試験場 又は 畜産試験場
農業環境	2名	農業環境及び精密農業に関する調査研究	農業試験場
農業経済	1名	農業経済及び農村計画に関する調査研究	
病害	1名	作物病害の防除に関する調査研究	
害虫	1名	害虫の防除に関する調査研究	
獣医	1名	家畜の疾病予防及び繁殖性向上に関する調査研究	農業試験場 又は 畜産試験場
畜産	1名	家畜の栄養・管理及び食肉生産に関する調査研究	畜産試験場
管理増殖	3名	水産資源の管理及び増養殖に関する調査研究	水産試験場
加工利用	1名	水産物の加工利用に関する調査研究	
森林保護	1名	森林病虫害に関する調査研究	林業試験場
森林科学	1名	森林の管理及び保全に関する調査研究	
木質材料	2名	木質材料の開発・評価及び利用技術に関する調査研究	林産試験場
人間工学	1名	人間工学及び人間情報工学に関する試験研究	工業試験場
情報工学	1名	センシング及び制御技術に関する試験研究	

試験区分	採用予定数	主な職務内容	勤務予定箇所
情報科学	1名	情報科学に関する試験研究	工業試験場
資源循環	1名	資源循環及び環境負荷低減に関する試験研究	工業試験場 又は 環境科学研究センター
食品科学	1名	食品開発に関する試験研究	農業試験場 又は 水産試験場 又は 食品加工研究センター
地球物理	1名	地質構造に関する調査研究	地質研究所
建築・都市工学	3名	建築・都市工学に関する調査研究	北方建築総合研究所
都市環境工学	1名	都市環境工学に関する調査研究	北方建築総合研究所 又は 環境科学研究センター

※ 「勤務予定箇所」の所在地については、当機構のホームページ (<http://www.hro.or.jp>) に記載しています。

なお、「勤務予定箇所」について、ご不明な点がある場合は、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話 011-747-0055）にお問い合わせください。

※ 上記試験区分のうち、いずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

2 試験日程、試験地等

試験区分	試験	試験日	試験地	試験会場
全試験区分	第1次試験	7月2日（日） 9：30（着席） 16：00（終了見込み）	札幌市	受験票でお知らせします。
	第2次試験	8月中旬	札幌市	第1次試験合格通知書でお知らせします。

3 求める人材、受験資格

試験区分	求める人材	受験資格
作物	農学に関する基礎知識、 並びに作物学、育種遺伝学、植物生理学、 園芸学、飼料作物学に関する専門知識を 有する者	昭和58年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
農業環境	農学に関する基礎知識、 並びに土壌学及び作物栄養学、又は農業 環境工学及び農業情報学に関する専門 知識を有する者	昭和58年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
農業経済	経済学に関する基礎知識、 並びに農業経済学に関する専門知識を 有する者	昭和58年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
病害	農学に関する基礎知識、 並びに植物病理学に関する専門知識を 有する者	昭和58年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者

試験区分	求める人材	受験資格
害 虫	農学に関する基礎知識、 並びに応用動物昆虫学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
獣 医	畜産学に関する基礎知識、 並びに獣医学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 獣医師免許を有する者又は採用までに獣医師免許を取得する見込みの者
畜 産	畜産学に関する基礎知識、 並びに家畜栄養学、家畜管理学及び畜産物利用学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
管 理 増 殖	水産学に関する基礎知識、 並びに水産資源の管理及び増養殖に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
加 工 利 用	水産学に関する基礎知識、 並びに水産化学及び水産利用学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
森 林 保 護	森林科学に関する基礎知識、 並びに森林保護学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
森 林 科 学	森林科学に関する基礎知識、 並びに森林管理学及び山地保全学の専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
木 質 材 料	林産学に関する基礎知識、 並びに木質材料学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
人 間 工 学	人間工学及び機械設計に関する基礎知識、 並びに人間情報の計測・解析技術に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
情 報 工 学	情報工学に関する基礎知識、 並びにロボットシステムに関するセンシング及び制御技術に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
情 報 科 学	情報科学に関する基礎知識、 並びにデータ解析、機械学習及び計算機科学に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
資 源 循 環	化学及び化学工学に関する基礎知識、 並びに資源循環及び環境負荷低減に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
食 品 科 学	農芸化学又は水産学に関する基礎知識、 並びに農産物又は水産物の加工、品質、利用に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
地 球 物 理	地球科学の基礎知識、 並びに地球物理及び物理探査に関する専門知識を有する者	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
建 築 ・ 都 市 工 学	建築学に関する基礎知識、 並びに建築工学、都市工学、又は防災工学に関する専門知識を有する者	昭和 53 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
都 市 環 境 工 学	都市工学又は衛生工学に関する基礎知識、 並びに都市における環境工学、水環境、資源循環、又は環境保全に関する専門知識を有する者	昭和 53 年 4 月 2 日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者

※ 試験区分によって受験資格（年齢・資格）が異なりますので、ご注意のうえ応募してください。

※ 受験資格に記載されている「修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者」については、専門試験においてその能力を判断するものであり、修士課程修了者や見込者に限定するものではありません。

※ 次に該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日（昭和22年5月3日）以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない人は採用されません。

4 試験方法、内容

試験区分	試験	試験種目	解答時間	内 容
全試験区分	第1次試験	教養試験 (択一式・40題)	2時間	当機構研究職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験 (出題分野は下表のとおり)
		専門試験 (択一式・記述式)	3時間	各試験区分に応じて必要な専門的知識、能力などについての筆記試験 (出題分野は下表のとおり) ※試験区分によっては択一式のみ又は記述式のみ出題となる場合があります。
	第2次試験	人物試験		第1次試験合格者に対して、個別面接及び適性検査を行います。

教養試験出題分野一覧表

試験区分	出 題 分 野
全試験区分	社会科学系（政治、経済、憲法、社会・思想） 人文科学系（日本史、世界史、地理、国語、芸術・文学） 自然科学系（数学、物理、化学、生物、地学） 文章理解（現代文、古文、英文）、判断推理、教養の推理、資料解釈 ※大学卒業程度

専門試験出題分野一覧表

試験区分	出 題 分 野
作物	農学の基礎知識 作物学、育種遺伝学、植物生理学、園芸学、又は飼料作物学の専門知識から選択
農業環境	農学の基礎知識 土壌学及び作物栄養学、又は農業環境工学及び農業情報学の専門知識から選択
農業経済	経済学の基礎知識 農業経済学の専門知識
病害	農学の基礎知識 植物病理学の専門知識
害虫	農学の基礎知識 応用動物昆虫学の専門知識
獣医	畜産学の基礎知識 獣医学の専門知識

試験区分	出題分野
畜産	畜産学の基礎知識 家畜栄養学、家畜管理学及び畜産物利用学の専門知識
管理増殖	水産学の基礎知識 水産資源学、水産海洋学、又は水産増養殖学の専門知識から選択
加工利用	水産学の基礎知識 水産化学及び水産利用学の専門知識
森林保護	森林科学の基礎知識 森林保護学の専門知識
森林科学	森林科学の基礎知識 森林管理学及び山地保全学の専門知識
木質材料	林産学の基礎知識 木質材料学の専門知識
人間工学	人間工学及び機械設計の基礎知識 人間情報の計測及び解析技術の専門知識
情報工学	情報工学の基礎知識 ロボットシステムのセンシング及び制御技術の専門知識
情報科学	情報科学の基礎知識 データ解析、機械学習及び計算機科学の専門知識
資源循環	化学及び化学工学の基礎知識 資源循環及び環境工学（環境保全、環境分析・評価）の専門知識
食品科学	農芸化学又は水産学の基礎知識 農産物における食品化学、水産物における食品化学、又は食品加工学の専門知識から選択
地球物理	地球科学の基礎知識 地球物理学及び物理探査の専門知識
建築・都市工学	建築学の基礎知識 建築工学、都市工学、又は防災工学の専門知識から選択
都市環境工学	都市工学又は衛生工学の基礎知識 都市環境学、水環境工学、資源循環、又は環境保全の専門知識から選択

5 合格者の決定方法

- (1) 第1次試験合格者 教養試験及び専門試験の結果により決定します。
(2) 最終合格者 第1次試験（専門試験）及び第2次試験の結果により決定します。

6 合格発表

合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構本部入口の掲示板に掲示するほか、当機構のホームページ上にも掲示します。また、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話による照会には応じません。

合格した方で、合格通知書が発表の日から2日経っても到着しない場合には、速やかに、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話 011-747-0055）にお問い合わせください。

なお、辞退等の理由により合格者を採用できなくなった場合は、第2次試験受験者のうち成績が上位である者を合格者として追加することがあります。

- 合格発表日
ア 第1次試験合格発表 7月中旬
イ 最終合格発表 9月上旬

7 試験結果の開示について

この試験の結果については、『地方独立行政法人北海道立総合研究機構口頭による開示請求の開示要綱』の規定により、下表のとおり口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、学生証等）を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に直接お越しください。（土・日曜日及び祝日は受付いたしません。）

開示請求できる人	開示期間	開示内容	開示場所
第1次試験 不合格者	第1次試験合格発表 日から1か月間	第1次試験の個別得 点及びその成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 本部経営企画部経営企画グループ
第1次試験 合格者	最終合格発表日から 1か月間	第1次試験の開示内 内容及び第2次試験の 得点並びに総合順位	

8 採用時期

採用時期は、原則として平成30年4月1日です。（ただし、既に学校等を卒業している方等は、平成29年度中に採用される場合もあります。）

ただし、本試験に合格しても、健康診断等で就業が困難とされた場合、又は「獣医」を受験する方で、採用時期までに獣医師の資格を取得（獣医師国家試験に合格）していない場合は採用されません。

9 給 与（次の額は、平成29年4月1日現在における**新卒者の場合の例**です。）

区 分	初 任 給	諸 手 当
(例1) 研究職員（博士課程修了）	268,400 円	期末手当・勤勉手当（賞与）、通勤手当、住居手当、 扶養手当、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給 条件に応じて支給されます。
(例2) 研究職員（修士課程修了）	219,500 円	

※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定されます。

なお、当機構では、社会一般の情勢等に応じた給与の見直しを適宜行っています。

※ 社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

10 申込方法

次の書類を平成29年6月12日（月）までに北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目）あて持参（**期限：当日17時**）又は郵送（**期限日消印有効**）により提出してください。

なお、郵送の場合は、**必ず簡易書留**で送付してください。

- (1) 申込書（指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に**手書きするか、又はパソコンで作成**し、指定の場所に写真を貼付してください。）
- (2) 返信用封筒（受験票の送付先を明記し、82円切手を貼付した長形3号（12.0cm×23.5cm））
- (3) 「獣医」を受験する者にあつては、上記3の受験資格に関する免許証等の写し

受験票は、6月21日（水）から発送する予定です。**6月24日（土）までに受験票が届かないときは、6月26日（月）に北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話011-747-0055）に必ずお問い合わせください。**

※ 第1次試験受験の際は、必ず受験票の所定の欄に6か月以内に撮影した脱帽、上半身、正面向きの縦4cm×横3cmの写真を貼ってきてください。

11 その他

- (1) 申込書に記載された個人情報は、本試験以外の目的には使用しません。
- (2) 採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- (3) 収集した個人情報は、北海道個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
- (4) **第1次試験合格者には、第1次試験合格通知書の到着後直ちに、申込書の12に概要を記載した卒業論文、修士論文又は学術論文、学会発表等の写しを提出していただきます。**